



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 ニッキ
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 和田 孝
 (氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,808	12.6	160	△54.4	176	△39.6	142	△58.5
25年3月期第2四半期	4,271	△7.9	352	△26.2	292	△26.2	342	△57.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 281百万円 (△17.8%) 25年3月期第2四半期 342百万円 (△54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.19	—
25年3月期第2四半期	36.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	11,877	4,753	39.3	498.50
25年3月期	11,557	4,594	39.1	481.95

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,672百万円 25年3月期 4,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	8.3	430	△34.7	410	△45.3	330	△63.7	35.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) NIKKI INDIA FUEL SYSTEMS PRIVATE LIMITED、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	10,000,000 株	25年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	625,907 株	25年3月期	625,897 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	9,374,099 株	25年3月期2Q	9,375,208 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定であります。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策や財政政策などの経済対策を背景として、円高是正・株価回復の進展など、徐々に景気回復に向けた動きが見られました。一方、米国では景気回復基調が継続しましたが、欧州の景気低迷が長期化していることに加え、一部新興国の経済成長の鈍化等の要因により、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、ガス機器部門と汎用機器部門の販売が堅調に推移し、連結売上高は48億8百万円（前年同期比12.6%増加）となりました。

損益につきましては、インド子会社の生産開始による初期費用負担増加や、生産拠点の見直しに伴う一時的な代替生産コスト増等の要因により営業利益は1億6千万円（同54.4%減少）、経常利益は1億7千6百万円（同39.6%減少）、四半期純利益は1億4千2百万円（同58.5%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車機器事業は自動車用気化器等の販売が減少し、売上高は4億6千4百万円（同4.4%減少）となりましたが、コスト削減効果等によりセグメント利益は5千5百万円（同8.2%増加）となりました。

ガス機器事業は新規顧客との取引開始や北米向けフォークリフト用ガス噴射機器の回復等により売上高は22億3千7百万円（同16.2%増加）となったものの、一部製品についての市場処理費用負担もあり、セグメント利益は9千4百万円（同15.3%減少）となりました。

汎用機器事業は主要マーケットである米国向け販売が堅調に推移したことにより、売上高は30億7千9百万円（同15.7%増加）となったものの、インド子会社の生産開始による初期費用負担増加や、生産拠点の見直しに伴う一時的な代替生産コスト増等の要因により、セグメント損失は1億4千2百万円（前年同期は4千8百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業は売上高2億7千4百万円（同0.0%増加）、セグメント利益は2億3千8百万円（同0.4%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、118億7千7百万円と前連結会計年度末と比べて3億2千万円増加しました。主な増減項目は、現金及び預金の増加（2億8千1百万円）、機械装置及び運搬具の増加（3億8千3百万円）及び投資有価証券の減少（2億7千万円）であります。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、71億2千4百万円と前連結会計年度末と比べて1億6千1百万円増加しました。主な増減項目は、短期借入金の増加（1億3千9百万円）、その他流動負債の増加（2億5百万円）及び長期借入金の減少（2億円）であります。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、47億5千3百万円と前連結会計年度末と比べて1億5千9百万円増加しました。主な増減項目は、為替換算調整勘定の増加（1億3千9百万円）であります。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における、現金及び現金同等物の残高は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加（7億8千6百万円）が投資活動によるキャッシュ・フローの減少（3億9千3百万円）及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少（1億8千9百万円）を上回り、また、現金及び現金同等物に係る換算差額の減少（6千8百万円）による調整を行った結果、現金及び現金同等物の残高は、28億5千1百万円（前第2四半期連結累計期間は25億4千6百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比べて3億5百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は7億8千6百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益（1億7千3百万円）、減価償却費（2億7千万円）、売上債権の減少（1億4千1百万円）、仕入債務の増加（1億3千万円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は3億9千3百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出（1億1千3百万円）、投資有価証券の取得による支出（1億4千2百万円）、有形固定資産の取得による支出（1億6千5百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は1億8千9百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出（1億2千万円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」に公表しましたとおり、通期の連結業績予想につきましては、ガス機器の販売が引続き堅調であり、売上高は前回（平成25年5月15日公表）予想値を据え置いておりますが、損益面は第3-4四半期はほぼ予算通りで第1-2四半期より増加するものの、第2四半期までの要因により、前回予想値を下回る見込みです。なお、配当の予想につきましては変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたNIKKI INDIA FUEL SYSTEMS PRIVATE LIMITEDは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,704,152	2,985,319
受取手形及び売掛金	1,815,353	1,634,315
商品及び製品	377,556	366,496
仕掛品	773,746	848,042
原材料及び貯蔵品	52,535	38,593
その他	401,103	443,916
貸倒引当金	△6,871	△5,719
流動資産合計	6,117,575	6,310,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,907,778	1,919,616
機械装置及び運搬具（純額）	951,110	1,334,407
その他（純額）	558,123	563,702
有形固定資産合計	3,417,012	3,817,727
無形固定資産		
投資その他の資産	196,837	180,839
投資有価証券	1,816,976	1,546,297
その他	8,845	21,962
投資その他の資産合計	1,825,821	1,568,260
固定資産合計	5,439,671	5,566,827
資産合計	11,557,247	11,877,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031,494	1,134,989
短期借入金	1,727,880	1,867,480
未払法人税等	49,651	62,016
賞与引当金	140,279	155,439
その他	647,953	853,414
流動負債合計	3,597,259	4,073,339
固定負債		
長期借入金	431,830	231,290
退職給付引当金	1,465,043	1,409,634
役員退職慰労引当金	84,939	96,280
環境対策引当金	7,352	5,907
その他	1,376,582	1,308,049
固定負債合計	3,365,747	3,051,161
負債合計	6,963,006	7,124,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	49,674	49,674
利益剰余金	3,658,497	3,678,236
自己株式	△295,877	△295,880
株主資本合計	3,912,295	3,932,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	685,921	681,772
為替換算調整勘定	△80,382	59,192
その他の包括利益累計額合計	605,539	740,965
少数株主持分	76,406	80,295
純資産合計	4,594,241	4,753,291
負債純資産合計	11,557,247	11,877,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,271,233	4,808,425
売上原価	3,296,654	3,914,241
売上総利益	974,579	894,184
販売費及び一般管理費	621,747	733,371
営業利益	352,832	160,812
営業外収益		
受取利息	1,214	2,518
受取配当金	20,548	25,221
為替差益	—	20,200
その他	7,751	6,830
営業外収益合計	29,513	54,770
営業外費用		
支払利息	36,128	31,189
為替差損	50,111	—
その他	3,922	7,957
営業外費用合計	90,162	39,146
経常利益	292,184	176,436
特別利益		
固定資産売却益	129	—
特別利益合計	129	—
特別損失		
固定資産除売却損	123	3,136
特別損失合計	123	3,136
税金等調整前四半期純利益	292,190	173,300
法人税等	1,861	46,491
少数株主損益調整前四半期純利益	290,329	126,808
少数株主損失(△)	△52,517	△15,541
四半期純利益	342,846	142,349

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290,329	126,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,377	△4,149
為替換算調整勘定	41,755	159,004
その他の包括利益合計	52,133	154,855
四半期包括利益	342,463	281,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,336	277,775
少数株主に係る四半期包括利益	△34,873	3,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	292,190	173,300
減価償却費	241,350	270,634
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△50,229	△59,492
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,376	11,315
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,296	△1,152
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,744	15,159
受取利息及び受取配当金	△21,762	△27,739
支払利息	36,128	31,189
為替差損益 (△は益)	10,096	△7,192
固定資産除売却損益 (△は益)	△6	3,136
売上債権の増減額 (△は増加)	143,330	141,439
たな卸資産の増減額 (△は増加)	41,732	90,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,013	130,521
その他	△42,992	59,133
小計	616,894	831,080
利息及び配当金の受取額	21,762	27,739
利息の支払額	△36,038	△31,058
法人税等の支払額	△14,371	△41,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,246	786,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△113,382
定期預金の払戻による収入	—	32,629
子会社出資金の取得による支出	△121,257	—
投資有価証券の取得による支出	△216,000	△142,020
有形固定資産の取得による支出	△220,090	△165,196
有形固定資産の売却による収入	—	32
無形固定資産の取得による支出	—	△4,835
貸付けによる支出	—	△400
貸付金の回収による収入	525	665
その他	△119	△1,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556,942	△393,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	60,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△125,790	△120,940
自己株式の取得による支出	△318	△3
リース債務の返済による支出	△54,311	△62,388
配当金の支払額	△56,253	△65,618
その他	△540	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,213	△189,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,081	△68,970
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,827	134,109
現金及び現金同等物の期首残高	2,648,509	2,655,873
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	61,954
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,546,682	2,851,937

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	485,872	1,924,920	2,662,295	274,932	5,348,019	△1,076,785	4,271,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	485,872	1,924,920	2,662,295	274,932	5,348,019	△1,076,785	4,271,233
セグメント利益(又は損失△)	51,285	112,032	△48,040	237,925	353,202	△370	352,832

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△1,076,785千円及びセグメント利益(又は損失△)の調整額△370千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車機器事業	ガス機器事業	汎用機器事業	不動産賃貸事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	464,295	2,237,689	3,079,931	274,934	6,056,850	△1,248,424	4,808,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	464,295	2,237,689	3,079,931	274,934	6,056,850	△1,248,424	4,808,425
セグメント利益(又は損失△)	55,471	94,864	△142,662	238,786	246,459	△85,647	160,812

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△1,248,424千円及びセグメント利益(又は損失△)の調整額△85,647千円は、主に連結会社間の内部取引消去等の連結修正金額であります。

2. セグメント利益(又は損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。